

神奈川県立商工高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

| | |
|------|---|
| 会議名称 | 令和6年度 商工高等学校 第2回 学校運営協議会 |
| 開催日時 | 令和6年10月27日（日）10：00～12：00 |
| 開催場所 | 応接室 |
| 出席者 | 後藤 宗治 中 清士 中村 和彦 小澤 芳明 千葉 恵美 |
| 会議資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第2回学校運営協議会について ・各グループ等からの報告等 |
| 議事録 | <p>各グループ等からの報告及び意見交換</p> <p>【カリキュラム開発グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタディサブリの活用取組状況について ・令和6年度入学者選抜制度の変更点及び令和7年度入試について <p>【ガイダンスグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度卒予定者の進路状況中間報告 <p>【企画研究グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度広報活動(学校説明会、中学校訪問等)について <p>【生徒指導グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各生活指導（挨拶・服装・遅刻・交通安全指導 等）について ・かながわ子どもサポートドック制度の活用について ・教育相談体制の整備について <p>【学校管理運営グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度防災訓練実施状況について ・大規模災害時における東京ガスの前線基地使用について <p>【生徒支援グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工祭(文化祭)の実施について ・キャッシュレス決済について <p>【総合ビジネス科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・企業・上級学校等との連携推進について ・令和6年度高等学校DX加速化推進事業への取組について <p>【総合技術科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業教育フェア（SteamExpe2024）について ・令和6年度高等学校DX加速化推進事業への申請採択について <p>(3) 商工祭(文化祭)の見学</p> <p>2 配付資料</p> <p>(1) 令和6年度第2回学校運営協議会について</p> |

- (2) 補足資料：各グループ等からの報告等
- (3) 回答用紙

3 役割分担

- (1) 受付・案内 【副校長】
- (2) 司会・進行 【副校長】
- (3) 記録 【副校長】
- (4) 説明 【副校長】

4 議事録

(1) 議事

【カリキュラム開発グループ】

○スタディサプリの取組推進について

・スタディサプリの活用をすすめるため、各教科に計画的な課題配信への協力及び副担任等による生徒の取組状況等のチェックを行っている。

○令和6年度入学者選抜制度の変更について

・学力検査は3教科(英・国・数)のみ、特色検査として面接検査を実施

【ガイダンスグループ】

○令和6年度卒業予定者の進路状況中間報告

- ・現在のところ、半数強が就職希望、残りが進学希望で活動中である。
- ・一昨年度より進学希望者が若干増加
- ・就職希望者の約90%以上が、すでに企業から内定をいただいている。

【企画研究グループ】

○令和6年度広報活動(学校説明会、中学校訪問等)について

・昨年度に比べ、学校説明会及びミニ学校説明会への参加予約はすぐに定員となる。また、公私合同相談・説明会では、台風の影響により中止となってしまった。さらに、今年度も全公立展をパシフィコ横浜で開催し、本校も広報活動を行った。

【生徒指導グループ】

○各生活指導(挨拶・服装・遅刻・交通安全指導等)について

- ・登下校時のマナーについて近隣より苦情が来ている。
- ・登下校時の立番指導を行っている。

○かながわ子どもサポートドックについて

・SC及びSSWが原則週1回来校している。その有効活用も含め「かながわ子どもサポートドック」での生徒へのアンケート調査結果をSC、SSWに確認いただいている。

【学校管理運営グループ】

○今年度防災訓練実施状況について

・8月27日に防災訓練を実施した。内容としては、シェイクアウト訓練及び動画視聴による大規模地震発災時(南海トラフ大地震)への備えと対応について

○大規模災害時における東京ガスの前線基地使用について

・東京ガスとは大規模災害発生後に資材置場としての使用を許可する協定を結んでいる

が、前線基地として使用される教室（案）は、提示したがマニュアルは継続策定中

【生徒支援グループ】

○商工祭(文化祭)の実施について

- ・完全キャッシュレス決済について、今年度から初めての試みとなる。

【総合ビジネス科】

○企業・上級学校等との連携について

- ・連携する企業等が増加しており、企業連携による授業で「商品開発」を行っている。

○令和6年度高等学校DX加速化推進事業への取組について

- ・採択を受けたのは総合技術科であるが、ビジネス科も共同で取組を行っていく。

【総合技術科】

○産業教育フェアについて

- ・今年度は神奈川工業高校を会場として実施することとなった。
- ・令和6年度高等学校DX加速化推進事業への申請し採択され、1千万円の予算がついた。ハイスペックPC、光造形3Dプリンタ等を導入する予定である。

5 意見交換

○スタディサプリの取組推進について

【中委員】学習習慣や基礎学力の定着は大切なことであるので、よい取組である。全生徒は課題に取組むことはできているか、継続的に取組ませることは大変なことであるが、先生方も頑張っていたきたい。

【後藤委員】数年継続していると思うので、どのくらい効果が上がったか、第3回学校運営協議会において数値化して提示していただけるとよい。

○令和6年度からの入学者選抜制度の変更について

【中委員】入学者選抜面接は、中学生であることもあり、10分と限られた時間の中で、上手に自己表現ができない生徒さんも多いかと思いますので、面接官の方で出来るだけ生徒さんの良い所を引き出し、評価してあげられる面接にしていただけると有難い。

【後藤委員】専門高校で3教科の学力検査と面接を実施する学校は他にあるか。

○令和6年度卒業予定者の進路状況中間報告

【中委員】各生徒さんの進路指導に尽力していただいている様子が、状況結果からみて、伝わってきます。引続き、学びたい事や、やりたいことを見出しやすい情報提供とアドバイスを生徒さんにしていただけると有難い。

【後藤委員】進学割合は全体のどのくらいで、うち四年制大学、専門学校等の比率はいかがか。

【小澤委員】他の専門高校においても、本校と同じような進路状況であるか知りたいと思う。

○令和6年度広報活動(学校説明会、中学校訪問等)について

【中委員】実際に学校説明会に参加した生徒がどのくらい入学しているかを分析してみるとよい。多くの広報活動をされているが、どの広報活動に効果があったかが分かり、今後それに力を入れた方がよいと考える。アンケートの中で「施設・設備が見たかった」「カリキュラムについて知りたかった」などと具体的に内容に力を入れてもよいと思

う。

【後藤委員】休日開催の場合は、全校生徒は登校となるのか。もし可能ならば登校日として中学生や保護者に「公開授業」としてはいいかがか。

○各生活指導（挨拶・服装・遅刻・交通安全指導 等）について

【中委員】「闇バイト」に関する注意喚起、関わってしまった場合の警察署及び学校への報告・相談に関しては、ある程度の期間毎に、繰り返し実施していただき、これらに巻き込まれない態勢を維持していただけますと有難いです。

教育相談コーディネーターとは具体的にどのような役割を果たしているか。

【後藤委員】サポートドックではどのくらいの生徒がリストアップされるか。どの学校にも支援が必要な生徒が在籍している。サポートドックが充実することを期待したい。

【中村委員】教職員のメンタル面での心配はないか、小中学校ではメンタルが原因で離職する職員が多いと聞いている。高校においても大変だと思うので相談機関などを有効に使えるとよいと思う。

【小澤委員】闇バイトの状況は、高校生が係りを持つほど低年齢化してきている。係ることが非常に危険な行為であることを伝えていかなければならない。

○商工祭(文化祭)の実施について

【中委員】完全キャッシュレス化によって現金を持ち歩く必要がなくなるため、便利であることと同時に安全である。楽天との契約であることは驚いた。今後、導入できる場所では、キャッシュレス化していけるとよいと考える。

【小澤委員】キャッシュレス決済への違和感はない。便利であるし、同窓会でも高齢の方は敬遠しているので、操作できる人物に限りがあるが、売り上げた状況などが確認できるので、よいと考えている。

【中村委員】今はどんなところでもキャッシュレスが導入されているため、導入はよい試みである。地域のお年寄りも交通系ＩＣは利用しているが、キャッシュレスの仕組みを分かっていないので、仮想通貨のような悪いイメージを持ってしまっているのが現状である。

○総合ビジネス科による企業や上級学校等との連携について

【中委員】引続き、地域・企業と連携した取組を拡大されていくことを期待しています。研究成果、連携実績などを校内外で積極的にＰＲしていただき、他の生徒さんへの活動のきっかけ作りや、今後の活動のインセンティブにしていいただければ幸いです。

○総合技術科の産業教育フェア、ＤＸ加速化推進事業の採択について

【中委員】ＤＸ事業に採択されたことは素晴らしいことである。今後、どのように進めていけるか教示していただけるとよい。

【後藤委員】SteamExpo は今年度、神奈川工業高校が会場となっているが、今後もそうなのか。